

## 災害時にも有益なパーソナル・モビリティの展開に関する研究

公益社団法人 日本交通計画協会交通計画研究所 次長  
北海道大学大学院教授

秋村 成一郎

(工学研究院北方圏環境政策工学部門技術環境政策学分野)

田村 亨

国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室 課長補佐

野津 隆太

キーワード：

①パーソナル・モビリティ	②災害	③避難行動
--------------	-----	-------

東日本大震災を受けた2012年の国の防災基本計画の見直しでは、避難時の移動手段について、パーソナル・モビリティ（私的交通手段）のひとつである「徒歩」による避難を原則とすることを堅持している。

他方、東日本大震災における1次避難時の移動手段調査（内閣府および国土交通省）によれば、約3分の2の住民が事前に想定した「徒歩」ではなく、自家用車を多用したことがわかっている。

このため、本研究は、東日本大震災後に実施された国の避難行動等に関する実態調査のデータを分析し避難時の推奨すべき交通手段の検証を通して、徒歩以外のパーソナル・モビリティも平常時と災害時の両面において有益であることを検証するとともに、その導入を促進し持続させるための具体的要件を取りまとめることを目的とする。